

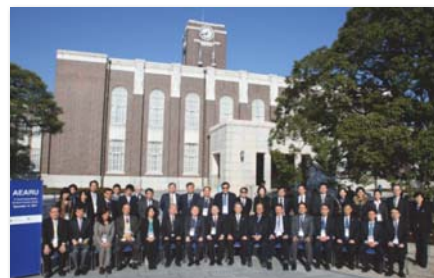
From Kyoto University

京都大学から世界へ

京都大学は、APRUで4年間、AEARUで8年間理事を務める等、APRU・AEARUの運営に積極的に参与し、様々な角度から提案をしています。また、数々の事業を主催し、世界有数の大学の学生、研究者や学長を京都へ招くことによって、京都大学はもとより、京都や日本の良さを世界へ発信するとともに日本の方々に国際交流の機会を提供しています。

AEARU 総会・理事会を同時主催

2011年12月14日



京都大学は、2005年に理事会、2007年・2011年に総会（理事会同時開催）を主催し、AEARU運営に貢献。2011年には加盟大学から学長や副学長等、計49名が参加。東アジアが世界を牽引するためにAEARUが出来ることについて熱い議論が交わされ、実現

に向けて、具体的な方策の提案やワーキンググループが設置される等、AEARUが前身する大きな節目を迎えた会議となった。

AEARU 1st Symposium on the Culture of Chinese Characters を開催

2011年12月15-16日

アジアの文化的共通項である漢字を研究し、東アジアが持つ潜在力を発見することを目的として、これまで人文系の研究領域であった漢字を社会科学、自然科学の視点からも検討するため、中国語学、漢字学、哲学、天文学、医学、宇宙学など様々な分野から東アジアを代表する研究者が集い、検討を行った。シリーズ化され、AEARUを代表するイベントとなっている。



写真：宇宙学から漢字の必要性を検証（磯部洋明京都大学宇宙総合学研究所ユニット講師）

APRU Research Symposium on University Museums: Forming a University Museum Collection Network as the Core of Frontier Research を開催

2012年9月11 - 14日

学術標本コレクションとそれを活用した研究の最新の成果を共有するために環太平洋地域の主要大学の大学博物館が一堂に会する初めての試みとして開催。今後益々利用価値が高まってゆく標本について、個々の大学間で競争するのではなく、国際ネットワーク化を図り密接に協力することでこれら標本



写真：博物館見学ツアー

コレクションを研究・教育や大学の国際社会への貢献の推進に役立てるべきであるとの合意を得られたことは非常に評価されている。

第2回開催も決定しており、APRUのメリットを有効に活用している象徴的なシンポジウムシリーズとなった。

APRU・AEARUには世界の最先端大学が加盟しています

APRU 加盟大学

| | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オーストラリア | Australian National University University of Melbourne University of Sydney |
| カナダ | University of British Columbia |
| チリ | University of Chile |
| 中国 | 復旦大学 香港科技大学 南京大学 北京大学 清華大学 香港大学 中国科学技術大学 浙江大学 |
| 台湾 | 台湾大学 |
| インドネシア | University of Indonesia |
| 日本 | 慶應義塾大学 京都大学 大阪大学 東北大学 東京大学 早稲田大学 |
| 韓国 | Korea University Seoul National University |
| マレーシア | University of Malaya |
| メキシコ | National Autonomous University of Mexico Tecnológico de Monterrey |
| ニュージーランド | University of Auckland |
| フィリピン | University of the Philippines |
| ロシア | Far Eastern National University |
| シンガポール | National University of Singapore |
| タイ | Chulalongkorn University |
| アメリカ合衆国 | California Institute of Technology Stanford University University of California, Berkeley University of California, Davis University of California, Irvine University of California, Los Angeles University of California, San Diego University of California, Santa Barbara University of Oregon University of Southern California University of Washington |

AEARU 加盟大学

| | |
|----|--------------------------------------------------------|
| 中国 | 復旦大学 南京大学 北京大学 清華大学（北京） 中国科学技術大学 香港科技大学 |
| 台湾 | 台湾大学 清華大学（新竹） |
| 韓国 | 韓国科学技術院 浦項工科大学 ソウル大学 |
| 日本 | 京都大学 大阪大学 東北大学 東京工業大学 東京大学 筑波大学 |

編集・発行 京都大学
研究国際部国際交流課

発行年月 2013年2月発行

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

電話番号：075-753-2079

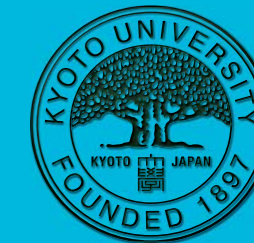
E-mail：renkei@www.adm.kyoto-u.ac.jp

APRU

Association of Pacific Rim Universities
環太平洋大学協会

AEARU

The Association of East Asian Research Universities
東アジア研究型大学協会



APRU・AEARU事業に
参加しよう
新しい発見と
グローバルなネットワーク





Voice

多くの友人ができ、日本を再発見した二週間

第6回 APRU 学部学生サマープログラム
2011年7月5日～18日 浙江大学（中国）

Developing Entrepreneurial and Innovative Talent in the 21st Century というテーマで、様々な分野の専門家を講師とした講義や、杭州市内の企業見学など、非常に密度が濃く学ぶことの多い二週間だった。環太平洋の国々の学生との交流は何もかもが新鮮で、大学教育やカリキュラム、普段の過ごし



し方まで、英語で色々な話ができ、2週間で仲良くなった世界各地の友人達は、このプログラムで得た大切なものの一つだと思ふ。

期間中は、ホテルでの朝食後、午前中は浙江大学での講義、午後は企業見学や観光、ビジネスコンテストの準備を行う日々であった。ビジネスコンテストの準備

の為、日々集まって話し合いを重ね、夜の自由時間に調べ物や資料を作成し、どのグループも質の高いプレゼンテーションを完成させていたのが印象的だった。最終日は、模擬国連やフェアウェルパーティーが開催され、思い出に残る一日だった。その中でも、各国のパフォーマンスを披露する企画があり、日本からの参加者のAKB48は盛り上がり、その後に着替えた浴衣も写真撮影の的になるなど、日本の文化の人気の高さに驚いた。今回参加できたことを幸運に思う。様々な国の参加者とこれほど濃い日々を過ごすことができるプログラムは他にない。このようなプログラムが今後も続き、京都大学からも更に多くの参加者が参加できると良いと思う。（写真：ビジネスコンテストで最優秀賞を受賞）

総合人間学部認知情報学系2回生 中村 優佑

APRU (アプル) 環太平洋の研究・教育の発展を促進

環太平洋大学協会 Association of Pacific Rim Universities

1997年、環太平洋圏の主要大学の学長の提案により発足した国際大学連合。相互理解を深め、環太平洋地域にとって重要な諸問題（経済発展、都市化、地球温暖化、高齢化社会など）に対し、研究・教育の分野で協力・貢献することを目的とする。現在16か国・地域、42大学が加盟。

APEC（アジア太平洋経済協力会議）閣僚会議2012の共同声明において、域内の学生・研究者の交流の促進に重要な役割を果たす組織とされた。

京都大学はAPRUの創設メンバー校。2009年から日本を代表しAPRU理事会を務める。

ウェブサイト <http://www.apru.org/>

AEARU (アール) 東アジアの強みを再発見

東アジア研究型大学協会 The Association of East Asian Research Universities

1996年香港科技大学及び浦項工科大学（韓国）の提唱によって結成された国際大学連合。地域的・文化的な類似性を有するだけでなく、学術的プロフィール、教育目標及び学術研究・開発においても共通の関心を持つ東アジア地域の主要な研究型大学を結集し、研究者及び学生の交流、共同研究プロジェクトの推進、特定のテーマに沿った会議・ワークショップの開催など、相互の関心に基づく協力を行うことを目的とする。現在、東アジア4か国・地域、17大学の研究型大学が加盟。

京都大学は2004年から8年間理事会、2008年から2年間議長及び事務局を務めた。

ウェブサイト <http://www.apru.org/>

グローバルなネットワークを利用して 学生・研究者交流や共同研究をサポート

—国際交流課スタッフからの声—

私たち国際交流課のスタッフは、APRU・AEARU事業への京都大学からの参加者に対する各種支援を行っています。これらの事業では、世界を代表する加盟大学間での交流が学生レベル、研究者レベル、職員レベル、研究科長レベル、学長レベルの各層で行われており、共同研究の促進をはじめ、学生が研究者として初めて世界へ飛び立つ機会ともなっています。国際交流をよりスムーズにするための重要な基盤となっているこれらの機会が、京都大学の皆さまの国際的ネットワークづくりや研究の発展につながるようお手伝いしていきますので、是非ご参加ください。



APRU理事会電話会議に参加する松本総長と国際交流課スタッフ

APRU・AEARU 事業に参加しよう 新しい発見と グローバルなネットワーク

年間を通じて世界各地でリサーチシンポジウムや学生を対象としたキャンプなどを開催しており、京都大学からも、毎年多くの教員や学生が参加しています。京都大学を含め、各主催大学は、特に若手研究者や学生の参加を促進するために、**参加費や渡航費等の財政的支援**をしています。参加者の募集は、国際交流課が窓口となり、随時、京都大学ホームページに募集案内を掲載していますので、ぜひご応募ください（学内選考あり）。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/international/coalition/>

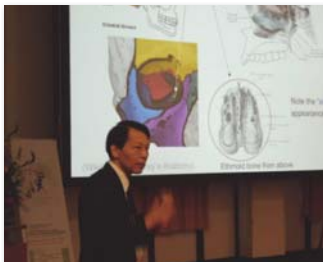
リサーチシンポジウム・ワークショップ (研究者、院生対象)

同一課題の解決やテーマに沿って、異なった分野から最先端の研究者が集い、多角的に情報交換、議論をすることによって、新しい視野の獲得、研究の更なる発展へのきっかけを作るとともに、環太平洋や東アジアから世界へ向けて地域や分野を融合した研究成果を発表する場ともなる。

Point バックグラウンドの異なる研究者が同一課題の解決に向け結集。分野を超えた最先端の情報収集とネットワークづくり。若手研究者（修士や博士課程）の初めての国際会議に最適。

定期的開催される主なリサーチシンポジウム・ワークショップ

- Brain and Mind
- Multi-Hazards around the Pacific Rim
- Aging/Gerontology
- Culture of Chinese Characters
- Molecular Biology and Biotechnology
- Web Technology and Computer Science
- University Museums
- Environmental Workshop
- Advanced Materials Research
- Network Education
- Sustainability and Climate Change
- Development and Collaboration of Asian Business Schools, etc.



医学の視点から漢字の果たした役割を検討（漢字文化シンポジウム）（武藤誠京都大学医学研究科教授）

サマーカーン・博士課程学生会議 (学部生、院生対象)

毎年夏に開催されるAPRU学部学生サマープログラム、AEARUサマーカーン、APRU博士課程学生会議は、海外の学生と寝食を共にし、テーマに基づく討論や文化交流を行う特に人気の高いプログラム。

Point 語学留学では味わえないディープな経験。世界トップレベルの学生との共同生活。ネットワークづくり。初めての海外文化交流に最適。海外留学へのきっかけづくり。



研究者を目指し、初めての国際学会

第11回 AEARU Molecular Biology and Biotechnology Workshop
2011年12月20～23日 香港科技大学

初めての国際学会への参加であった。渡航前、自分の英語が使える英語か、ポスター発表でうまく意見交換ができるか、心配で、プログラムの中で興味がある内容や、専門外の分野の内容について、予め論文を読んで臨んだ。それでも1日目は耳が慣れず英語で理解するのは難しかったが、2日目には、講演で抱いた疑問を質問することもできるようになった。

ポスター発表では、私の研究分野と異なった分野の人もおり、自分の研究の意味や面白さを伝える重要性を実感した。ある教授が閉会式でお話された、生物からみた物理、物理からみた生物の総括を聞いて、私は生物物理よりは物理生物をやっていきたくはないかと感じた。ワークショップでは、様々な分野の研究者が、最先端の研究発表をし、今まで興味を持っていなかった分野にも関心を持った。今後研究者として自立していく中で、自分だけのテーマ、自分が目指すべき道を見つけるためにも、今回の参加は非常に有意義であった。

初めての国際会議では、国内では味わえない様々な刺激を得ることができた。英語漬けという環境、香港科技大学の雰囲気、海外の研究者や学生との交流等、今までに経験したことのないことばかりであった。これからも国際的に活躍できる人材を目指し、日々精進していきたい。

理学研究科修士2年 鈴木 まゆ

